

2. 学部授業科目

授業科目名	紀州郷土学A（地質・地形、気候と地域資源活用）		
単位数	2（学部生のみ）	授業形態	講義
担当教員	此松 昌彦、久富 邦彦、中串 孝志、原 祐二、出口 竜也		
開講	南紀熊野サテライト（平成25年前期）	区分	学部開放科目
実施日・時間	4月13日(土) 13:00～17:00	担当：此松 昌彦	
	4月20日(土) 13:00～17:00	担当：久富 邦彦	
	5月11日(土) 13:00～17:00	担当：中串 孝志	
	6月8日(土) 13:00～17:00	担当：中串 孝志	
	7月6日(土) 13:00～17:00	担当：原 祐二	
	7月20日(土) 13:00～17:00	担当：出口 竜也、此松 昌彦	
【講義内容】 教養の森「わかやま」学群			
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】 紀伊半島(和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする)を地質・地形や気候、生物、歴史、文化、自然環境、郷土の学習、保全保護から「郷土：紀伊半島」を考える。「地域の独自性」を総合的に2年間で学べるカリキュラムとする。本科目では生活のベースとなる地質・地形・気候の成り立ちから、自然遺産の記録や活用について学ぶ。学生をはじめ、地域づくりの活動をされている方、観光関係、地域ガイドの方にも受講していただきたい。			
【紀州郷土学A（地質・地形、気候と地域資源活用）】 第1部・第2部：紀伊半島の成り立ち、生活環境を知る。 第3部：地域資源を活用する取組み。			
【授業計画】 第1部：「紀伊半島の生い立ちと自然遺産の活用」（地質地形を防災/観光/教育に活かす手法「ジオツーリズム」紹介） 第1回：4月13日(土)「ガイダンス・総論」 担当：此松 昌彦(教育学部) (内容)：本講義での趣旨、概要について説明し、地質・地形や気候を含めた風土の違いによる地域の独自性について概説し、現在の地形の特徴などを説明する。 第2回：4月20日(土)「紀伊半島の生い立ち」 担当：久富 邦彦(教育学部) 第3回：5月11日(土)「紀伊半島の気象とジオツーリズム」 担当：中串 孝志(観光学部) 第4回：6月8日(土)「ジオパーク」 担当：中串 孝志(観光学部) (内容)：和歌山県南部でジオパークを作ろうという動きがあり、ジオパークについて何か、先行事例を踏まえて紀伊半島について考える。 第2部：「地形図・空中写真、地理情報から読み解く紀伊半島」（地形図から紀伊半島の生活環境を読み取る） 第5回：7月6日(土) 原先生(シス工学部)「地形図・空中写真の判読と地理情報解析からみる紀伊半島」 (内容)：前半は紙媒体の新旧地形図・空中写真の判読基礎、後半は衛星画像・地理情報の活用による地域分析について、紀伊半島内の地区を事例に説明。前半部では実際に地形図や空中写真のコピーを配布して、色鉛筆で着色作業をしてもらう可能性有り。 第3部：「地域資源を活用した取組み」（地域資源を観光や経済に活用する取組みを知る） 第6回：7月20日(土)「地域資源を活用した取組みについて」 此松昌彦(教育学部)・出口竜也(観光学部) (内容)：和歌山県内外の地域資源活用の取組み活用例を紹介し、和歌山県内でどのような活用が可能か、ワークショップ形式で議論し、自分たちで工夫するプロセスを学ぶ。 【※5月11日、6月8日、7月20日は実務家の方を講師に迎える予定】 ※記載の内容は変更することもあります。			
【テキスト・教材】 適時資料を配布する。			